

第4回昭島市総合基本計画審議会 議事要旨

＜日時＞ 令和8年8月26日（水）午後6時30分～午後7時30分

＜場所＞ 昭島市役所 3階 庁議室

＜出席者＞（敬称略）

【委員】

田中 啓之（会長／相模女子大学 副学長 人間社会学部地域クリエーション学科教授）、前田 耕司（副会長／早稲田大学教育・総合科学学術院名誉教授）、氏井 初枝（昭島市教育委員会 委員）、井上 茂夫（昭島市農業委員会 会長）、安倍 弘行（昭島市社会福祉協議会 事務局長）、高橋 靖和（昭島市自治会連合会 会長）、寺澤 瞳（昭島六団体連絡協議会 財務理事）、根本 幸雄（連合多摩中央地区協議会 事務局次長）、堀井 真理子（昭島観光まちづくり協会 事務局長）、大田 眞也（昭島市医師会 常任理事）、舩原 邦明（前昭島市都市計画審議会 会長）、小川 比左江（公募市民）、細田 悟（公募市民）、牧野 愛子（公募市民）

【事務局】

池谷 啓史（企画部長）、渡邊 麻衣（政策調整担当課長）、村山 純（企画政策課長）、藤岡 真希（企画調整担当係長）、板谷 麻理子（企画政策係主任）

【説明員】

女屋 崇之（行政経営担当課長）

【傍聴者】 2名

＜欠席者＞（敬称略）

武藤 茂（昭島市商工会 事務局長）、荒井 康裕（東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科准教授）、出雲 明子（明治大学公共政策大学院 専任教授）、松本 祐一（多摩大学 経営情報学部事業構想学科総合研究所教授）

＜配付資料＞

日程、資料1：第1章・第5章変更の概要、資料2：第2章～第4章主な変更点、資料3：昭島市総合基本計画（後期計画）素案、資料4：パブリックコメント実施要領（案）、資料5：総合基本計画（後期計画）市民説明会資料（案）

<議事要旨>

1 開会

● 前回議事要旨の確認

事務局より事前送付済みの議事要旨について、期日までに特段の意見・指摘はなく、この場でも異議なし。第3回審議会の議事要旨を確認済みとした。

2 委嘱状の交付

農業委員会委員 鈴木 実氏の7月19日付け任期満了に伴う委員交代

後任は、農業委員会 新会長の井上 茂夫氏

委嘱状を交付、井上委員より自己紹介を行った。

3 議題：基本計画後期計画（令和9年度～令和13年度）素案について

（1）第1章・第5章の変更点確認

政策調整担当課長：

審議会での意見を踏まえ、以下の主な修正を行った。

● 第1章「この10年間の大規模な自然災害・異常とも呼べる気象状況」：

年表に熊本地震の発生を追記

● 第1章SDGsについて：

ポストSDGsを見据え、市民のウェルビーイングの向上に着目した施策展開を図るという記載を追記

● 第5章 基本施策1－②交通安全の推進：

交通安全施策のソフト面に、交通事情の変化に関する文言を追加し、ハード面との整合を図った。

● 第5章 基本施策2－①コミュニティ活動の推進：

前期計画期間中の成果である地域コミュニティ活動連携推進計画に基づき施策を進める旨を追記。

コミュニティ活動拠点施設について、ハード面のみの整備と読み取られないよう文言を修正。

サロン活動が高齢者のみの活動と読み取られないよう、文言を「高齢者の活動の場」から「多様な世代の参加」の段落へ移動。

● 第5章 基本施策3－②幼児教育・保育の充実：

主な取組項目の名称について、子育てを負担と誤解させない文言に改めた。

● 第5章 基本施策3－③学校教育の充実：

学力定着の取組について、ICTのみと読み取られないよう文言を修正。

学校給食の食育に関し、調理場の役割として食育・給食への理解の文言を追記。

● 第5章 基本施策5－①地球環境の保全・5－②水と緑の環境保全：

現在策定中の環境基本計画の審議を踏まえ、今後の環境変化を追記し、整合を図った。

● 第5章 基本施策5－③ごみ処理の推進：

食品ロス削減推進計画の策定について、施策の進捗の反映漏れが判明したため「計画に基づいた施策の展開」に修正。

● その他：

用語の注釈・前期の総括については冊子作成時に反映予定。市民説明会においても前期総括の概要を説明する予定。

高橋委員：

第5章基本施策2－①コミュニティ活動の推進の現状と課題において、「しかし」という逆接の接続詞が自治会を半ば否定するような印象を与えている。市として自治会をバックアップする姿勢を示す文言に改めてほしい。

政策調整担当課長・企画部長：

逆接の接続詞を別の表現に改める方向で検討する。

細田委員：

第1章「この10年間の大規模な自然災害・異常とも呼べる気象状況」の年表について、市民説明会が9月13日開催であることを踏まえ、8月の千葉豪雨も追記すべきではないか。

政策調整担当課長：

千葉豪雨を追記した形で素案を完成させ報告する。

(農地の現状に関する意見交換)

高橋委員の農地減少についての質問を受け、井上委員より昭島市の農地・農業の現状について以下の説明があった。

- 農地は相続等を契機として年々減少している。
 - 農業単独で生計を立てている農家は 1 件のみで、多くは不動産収入等で農業を支えている状況。
 - 学校給食との連携も難しく、安定した出荷量の確保が課題となっている。
-

(2) 第 2 章～第 4 章の主な変更点＜報告＞

政策調整担当課長：

第 2 章～第 4 章は他の会議体での審議を経てとりまとめられたものであり、報告事項として説明した。主な変更点は以下のとおり。

第 2 章（市の概要）： 基本的に時点更新のみ。本章の年表についても千葉豪雨を追記する。

第 3 章（人口ビジョン/総合戦略の基本目標）：

- 人口推計を上方修正し、令和 32 年の目標人口を 11 万 4,000 人に設定。
- ライフスタイルや価値観の多様化を踏まえ、未婚率の推移に関する記載を削除。
- 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略に対応し、デジタルに関する記載を全体的に追加。
- 基本目標 1 の政策指標を変更。
「市内事業所数を維持します」「女性の年齢階級別就業率における「M 字型曲線」の解消を目指します」を削除。
「ワーク・ライフ・バランス認定事業者及び認定事業者を目指す事業者を増やします」を追加。
- 基本目標 3 の名称を「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」から「子育てしやすい環境を整える」に変更。「婚姻数の増加」の指標を削除し、「出生数の増加」を「出生数の維持」に変更。

第 4 章（計画の策定にあたって）：

- 公共施設等総合管理計画：人口減少局面の後ろ倒しを踏まえ、縮減面積の目標は変更せず、目標年度を 14 年後（令和 32 年度）にスライド。
- 財政計画：実施計画の確定後に反映するため、本審議会・パブリックコメントの対象外とする。

氏井委員：

第3章 円グラフにおいて表記の修正を求める。

政策調整担当課長：

修正する。

井上委員：

第3章 基本目標2 昭島の魅力を発信するに関連して、深層地下水は、昭島駅北側の開発、及び人口増に伴う水枯渇の心配はないか。

企画部長：

深層地下水の流動調査の結果、今後も水収支はプラスが見込まれる。現在の最大計画給水量に対して平均給水量は十分余裕があり、枯渇の恐れはないと認識している。

田中会長：

第3章 人口ビジョンの目指すべき方向性について、子育てしやすい環境が20・30代の社会増にも寄与していると思われるが、その記載が「自然減の抑制」のみに位置づけられている点が気になる。

企画政策課長：

人口増の背景には大規模開発による転入が大きく寄与している。子育て環境の充実・発信については、総合戦略の中で強化する形で記載している。

前田副会長：

多文化共生との関連性、また、誰一人取り残さないというSDGsの趣旨からすると、人口ビジョンに外国籍住民の比率を書き込む必要があるのではないか。また、日本語教育の推進に関する法律（2019年制定）に基づく多文化共生推進プランの策定状況について、策定しているならば、取組として計画への記載を検討してほしい。

企画政策課長・政策調整担当課長：

基本施策2-⑥多様性を認め合える地域の醸成の現状と課題で外国人住民の増加については触れている。また、主な取組に多文化共生の推進および外国人住民への支援体制構築を記載しており、方向性は一致している。多文化共生推進プランの策定は今後の課題。

4 その他

（1）パブリックコメントの実施について

- 実施期間：令和8年9月16日（水）～10月15日（木）

- 素案の公開：市公式ホームページ、公共施設窓口配布または郵送請求
- 意見提出方法：窓口、電子申請、電子メール、郵送、ファックス
- 周知：9月15日号広報、市公式ホームページ、X、LINE

(2) 市民説明会について

- 開催日時：令和8年9月13日（日）午前10時～
- 説明会では前期計画の総括、後期計画の変更内容を説明し、参加者からの質疑を受ける。素案への意見は基本的にパブリックコメントで受け付ける。
- 説明会資料へのご意見は、令和8年9月1日（火）までに事務局へ連絡いただきたい。
- 周知：9月1日号広報、市公式ホームページ、X、LINE

(3) 第5回審議会の日程

令和8年11月11日（水）午後6時30分より、庁議室にて開催予定。パブリックコメント結果の報告と素案への反映事項を審議し、答申をまとめる。

5 閉会